

## ◎年次別 新生児の死因分類と順位(第1位～第5位)及び死亡率◎

(1970年・昭和45～2013年・平成25年)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
1955年(昭和30年)										
1960年(昭和35年)										
1965年(昭和40年)										
1970年(昭和45年)	出生時損傷等	193.5	詳細不明の未熟児	125.5	その他	106.8	先天異常	98.4	肺炎及び	57.3
1975年(昭和50年)	出生時損傷等	173.4	先天異常	111.4	詳細不明の未熟児	72.4	その他	64.9	母体の	50.3
1980年(昭和55年)	出産時外傷等	237.9	先天異常	103	詳細不明の未熟児	41.2	肺炎及び	11	敗血症	9.6
1985年(昭和60年)	出産時外傷等	155.2	先天異常	92.6	詳細不明の未熟児	12.7	敗血症	10.6	肺炎及び	5.4
1990年(平成2年)	先天異常	96.8	出産時外傷等	89.8	敗血症	9.4	詳細不明の未熟児	5.2	肺炎及び	2.9
1993年(平成5年)	先天異常	87.7	出産時外傷等	73.3	敗血症	9.3	詳細不明の未熟児	6.8	心疾患	3.2
1995年(平成7年)	先天奇形	83.9	周産期(呼)	57.7	胎児及び新生児	19.5	周産期(感)	10.4	妊娠期間	6
1998年(平成10年)	先天奇形	77.2	周産期(呼)	51.9	胎児及び新生児	15.7	周産期(感)	9.4	妊娠期間	5.1
2000年(平成12年)	先天奇形	70.6	周産期(呼)	46.3	胎児及び新生児	16.7	周産期(感)	6.5	妊娠期間	5.5
2003年(平成15年)	先天奇形	64.3	周産期(呼)	39.6	胎児及び新生児	15	妊娠期間	9	周産期(感)	7.3
2005年(平成17年)	先天奇形	53.8	周産期(呼)	35.6	胎児及び新生児	13.9	妊娠期間	5.8	周産期(感)	3.4
2007年(平成19年)	先天奇形	52.7	周産期(呼)	32	胎児及び新生児	10.1	妊娠期間	7.3	周産期(感)	7.1
2009年(平成21年)	先天奇形	45.4	周産期(呼)	31	胎児及び新生児	8.6	妊娠期間	5.6	周産期(感)	4.1
2011年(平成23年)	先天奇形	42.6	周産期(呼)	27.9	胎児及び新生児	7.3	妊娠期間	5.9	周産期(感)	4.3
2013年(平成25年)	先天奇形	42.7	周産期(呼)	25.8	胎児及び新生児	6.3	妊娠期間	4.4	周産期(感)	2.8

参照資料: e-stat 人口動態統計 第6・16表 年次別にみた乳児・新生児の死因順位に基づいて作成  
(人口10万人対)

- ・新生児(生後4週間・出生から満28日未満までの期間)
- ・乳児(出生から満1歳未満までの期間)
- ・肺炎及び→肺炎及び気管支炎
- ・母体の→母体の妊娠時の疾患による新生児の障害

- ・先天奇形→先天奇形、変形及び染色体異常
- ・周産期(感)→周産期に特異的な感染症
- ・周産期(呼)→周産期に特異的な呼吸障害等
- ・妊娠期間→妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
- ・胎児及び新生児→胎児及び新生児の出血性障害等
- ・敗血症→敗血症(新生児敗血症を含む)
- ・その他→その他の新生児の異常